

令和4年5月2日

令和3年度 特別の教育課程（英語特区）の実施状況等について

宮 城 県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
白石市立小中学校（13校）	白石市教育委員会	公立

1 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
白石第一小学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/0501shiroishi1-e/
白石第二小学校	http://shiroishi2-e.shiroishi-c.ed.jp/eigoanke-to.html
越河小学校	http://kosugou-e.shiroishi-c.ed.jp/custom.html
大平小学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/oodaira
大鷹沢小学校	http://ootakasawa-e.shiroishi-c.ed.jp/
白川小学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/shirakawa-e/
福岡小学校	http://fukuoka-e.shiroishi-c.ed.jp/
深谷小学校	http://fukaya-e.shiroishi-c.ed.jp/custom6.html
小原小中学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/obara-es-jh
白石中学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/shiroishi-j/
福岡中学校	http://fukuoka-j.shiroishi-c.ed.jp/news/
東中学校	http://shirohigashi-j.shiroishi-c.ed.jp/english.html

2 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価・関係者評価結果の公表 URL
白石第一小学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/0501shiroishi1-e/
白石第二小学校	http://shiroishi2-e.shiroishi-c.ed.jp/eigoanke-to.html
越河小学校	http://kosugou-e.shiroishi-c.ed.jp/custom.html
大平小学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/oodaira
大鷹沢小学校	http://ootakasawa-e.shiroishi-c.ed.jp/
白川小学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/shirakawa-e/
福岡小学校	http://fukuoka-e.shiroishi-c.ed.jp/
深谷小学校	http://fukaya-e.shiroishi-c.ed.jp/custom6.html
小原小中学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/obara-es-jh
白石中学校	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/shiroishi-j/
福岡中学校	http://fukuoka-j.shiroishi-c.ed.jp/news/
東中学校	http://shirohigashi-j.shiroishi-c.ed.jp/english.html

3 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

英語推進委員会において、各学校の実施状況の情報交換を密にし、特別の教育課程の推進を図った。

令和3年度は、白石市作成カリキュラム「しろいしイングリッシュ」が各学校において確実に実施することができていた(英語推進委員会での確認:各学校の実施状況報告)。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・ 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

白石市教育方針の重点取組として夢や志をかなえる力の育成として英語教育を掲げている。

令和3年度においては、年度末にアンケートを実施(児童生徒, 保護者, 教員)し、その結果を各学校のホームページに掲載している。

姉妹都市交流を継続しており、児童生徒交流の活動や幼小中の英語授業等の取組を白石市広報誌「学校キラリニュース」において紹介している。

定例教育委員会、市議会や記者会見等においても適宜、実施状況等を報告している。

4 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、白石市における英語教育を通じて児童生徒が他国の文化を学び、ふるさと白石について紹介できる力を育成し、「シビックプライド」～まちへの誇りと愛着～を育むことを目標としている。また、英語を用いて自分の思いや考えを伝える発信力を高め、相手の思いや考えを理解できる実践的なコミュニケーションの能力を育てる。

※幼稚園に年間20時間の活動、小学校1・2年(年間12時間)、中学校1・2年(年間17時間)に「しろいしイングリッシュ」を新設し、英語専科教員、ALTが指導に当たった。昨年度末に実施した小学生の英語アンケートからは、「教師やALTの話が分かるようになった」「ALTの英語を真似て話すことができるようになった」「友達との英語でのやり取りができるようになった」と回答した児童は、約8割前後であった。この結果から、会話の楽しさを感じながら、コミュニケーション能力の高まりを見取

ることができた。

※幼、小、中の学びの連続性を配慮しながら児童生徒を育成していくためには、推進体制を構築・充実していく必要がある。そのために、市内小中学校の英語推進教員による研修会を定期的に行い、情報共有を行った。その際、日常の実践から出された課題をもとにした話し合いをとおして、指導等の在り方の改善を図っている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

・小学校から中学校へ進学後の中学校英語学力調査等の正答率度数分布からは、二極化の傾向が見られる。慣れ親しむこと中心の小学校英語から、より実践的で知識や技能を活用する学習へつながる中学校英語の段階へ円滑に進むためには、小中における接続の在り方、授業改善等、一層の小中連携を大切にしていける必要がある。

5 課題の改善のための取組の方向性

- ・市内、幼・小・中学校の合同研修会、英語推進委員会で話し合う内容を検討し「しろいしイングリッシュ」の実践を深めていく。
- ・小中接続、連携の在り方を、授業を見合う会、授業検討会等の積極的な実施をとおして課題改善に向けて取り組んでいく。
- ・市内小中学校児童生徒の生活改善委員会、授業改善委員会、家庭学習委員会の提言、提案を基に、自己管理能力、自己効力感等、非認知能力の育成を図る。
- ・幼稚園、小学校、中学校において、市教委作成の暗唱読本を活用し、白石紹介や早口言葉に一層親しませていく。
- ・オーストラリアニューサウスウェールズ州と中国上海とのオンライン交流を継続する。
- ・英語検定受検料の補助の継続、及び英語専科教員、ALTの増員配置を働き掛けていく。
- ・グレードテストによる英語能力を把握し、授業に生かしていく。